

オートクレーブ お見積り標準スペックシート

ご所属/ご担当者様			
ご住所/設置場所			
メールアドレス		電話(任意)	
装置名称		希望納期	

1.希望する装置のタイプを選択して下さい。

☐バッチ式(密閉式) ☐連続式(流通式) ☐その他()

2.水素ガス、アセチレンガス、塩化ビニルの使用の有無について

☐使用する ☐使用しない

3. ガスの使用の有無について (使用する場合、ガスの種類をご記入下さい)

☐使用する ☐ガスは使用しない

☐可燃性ガス()

☐毒性ガス()

☐支燃性ガス()

☐その他のガス()

4.腐食性流体のご使用について(使用する腐食性流体と%濃度をご記入下さい。)

☐使用する ☐腐食性の流体は使用しない。

☐酸(%)

☐アルカリ(%)

☐溶剤(%) ☐その他の腐食物質()

5.圧力容器の材質について、ご希望があればご記入下さい。(標準はステンレスSUS316です)

ステンレス	SUS316/SUS316L/SUS304/SUS304L/SUS310S/SUS329J4L				
特殊ステンレス	S31254	特殊二相ステンレス	S32750	モネル	M400
ハステロイC	HC276/HC-22/ALLOY59/MAT21		ハステロイB	HB-2	
ハステロイX	H-X	インコネル	I-600/I-625	インコロイ	I-825
カーペンター	C20Cb3	ニッケル	Ni201	チタン	チタン2種/チタン3種
ジルコニウム	Zr702	その他材質	()		

6.圧力容器付帯部品(バルブ/圧力計/安全弁など)の希望材質があればご記入下さい。

☐SUS316(標準材質) ☐圧力容器と同等材質 ☐その他()

7.ガasket材質、形状について希望があればご記入ください。

☐指定なし

☐Oリング(セルフシール構造でボルト開閉作業が容易/流体により特殊Oリングで高コスト)

☐メタルガasket(経済性に優れる/要トルク管理、開閉作業性に劣る。省力工具等で要補完)

☐うずまきガasket(比較的経済性に優れ、シール安定性良好/フランジ肉厚傾向、重量増)

☐シートガasket(開閉作業性は比較的良好/200℃程度、高圧力用途不可)

☐その他()

8.設計温度と常用温度についてご記入ください。

設計温度(最高使用温度)		℃	常用温度		℃
--------------	--	---	------	--	---

9.設計圧力と常用圧力についてご記入下さい。

設計圧力(最高使用圧力)		MPa	常用圧力		MPa
--------------	--	-----	------	--	-----

10.圧力容器の容量についてご記入下さい。

圧力容器容量		リットル	※充填可能な最大液量：容量×66.6%
--------	--	------	---------------------

11.攪拌機能の要否についてご記入ください。

- | | |
|------------------------------------|----------------------------------|
| ☐ 攪拌機能は必要 | ☐ 攪拌機能は不要 |
| ☐ 磁力式攪拌機 | ※攪拌トルク定格候補は以下参照下さい。 |
| ☐ シェイカー(振盪) | 0.32N・m/0.65N・m/1.0N・m/2.0N・m |
| ☐ スターラ | |
| ☐ その他() | |

12.加熱器について(必要な場合のみ、不明な場合チェック不要です。)

- | | |
|---|---|
| ☐ バンドヒーター(100～300℃目安) | ☐ マイクロリングヒータ(100～450℃目安) |
| ☐ 電気炉(500～650℃目安) | ☐ オイルバス(室温+10～270℃雰囲気) |
| ☐ 循環オイルバス(-30～+250℃加熱冷却) | ☐ 温水ジャケット(-30～80℃※95℃) |
| ☐ ジャケットスチーム(120℃～) | ☐ ガラス布マントルヒーター(75～200℃) |
| ☐ 石英繊維マントルヒーター(75～300℃) | ☐ カートリッジヒーター(100℃～300℃) |
| ☐ セラミックバンドヒータ(300～600℃) | ☐ アルミブロック(100～225℃目安) |

13.圧力制御弁の要否についてご記入ください。

※設定圧力を超えた過剰圧力を排出し、反応器内を一定の圧力で運転可能な背圧弁の要否です。

- | | |
|--|---------------------------------|
| ☐ 背圧弁は必要 | ☐ 背圧弁は不要 |
| ☐ 背圧弁(手動制御タイプ) | |
| ☐ コントロールバルブ(デジタル調節計) | |
| ☐ マスフローコントローラ(圧力制御方式) | |

14.強制水冷機能(試料急冷)の要否についてご記入ください。

- | | |
|------------------------------------|----------------------------------|
| ☐ 試料急冷は必要 | ☐ 試料急冷は不要 |
| ☐ 反応器内コイル | ※コイル：安価/小径容器には不可、付着物不適 |
| ☐ 外部水冷ジャケット | ※ジャケット：小径容器、付着流体対応可/高コスト |

15.フランジ空冷機能の要否についてご記入ください。

※エアー供給設備が有る際に、ボルトフランジ部のエアー冷却機構の検討が可能です。

- | | |
|---|------------------------------------|
| ☐ フランジ空冷は必要(早く蓋板開閉したい) | ☐ フランジ空冷は不要 |
|---|------------------------------------|

反応器のみのスペックシート記入についてはここまでです。ご協力ありがとうございます。

オートクレーブ温度コントローラ お見積り標準スペックシート

イ.制御盤の内部安全規定などの有無について教えてください。

- | | |
|------------------------------------|------------------------------------|
| ☐ 内部制御盤規定あり | ☐ 内部制御盤規定なし |
|------------------------------------|------------------------------------|
- 御見積回答に内部規定の確認が必要です。

ロ.制御方式のご希望を記入して下さい。

- | | | | | |
|------------------------------------|-------|--------|---------|---------|
| ☐ サイリスタ制御方式 | 応答性：速 | 制御精度：高 | 機器サイズ：大 | コスト傾向：高 |
| ☐ SSR制御方式 | 応答性：遅 | 制御精度：低 | 機器サイズ：小 | コスト傾向：安 |
- ※SSRは温度制御が容易な流体に適しており、コストパフォーマンスが良好です。

ハ.制御タイプを記入して下さい。

- | | | |
|----------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|
| ☐ 定値制御タイプ | ☐ プログラム制御タイプ | ☐ 定値・プログラム切替兼用 |
|----------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|

ニ.ヒータ温度管理用調節計の有無について

※ふっ素樹脂コートやPTFE内筒使用時、高温電気炉制御、高精度制御したい時に推奨します。

- | | |
|--|-----------------------------------|
| ☐ ヒータ調節計あり(カスケード制御) | ☐ ヒータ調節計なし |
|--|-----------------------------------|

ホ.各種警報機能について(各種警報検知時に機器を停止します。)

- | | | | |
|--------------------------------------|--|---|------------------------------------|
| ☐ 温度警報 | ☐ 圧力警報 | ☐ モーター異常(自己診断警報) | ☐ 非常停止ボタン押下 |
| ☐ ガス検知(ガス検知器) | ☐ 冷却水異常(外部チャラー) | ☐ トルク異常(トルクメーター) | |
| ☐ 外部機器停止入力 | ☐ 安全扉開き(安全ドアスイッチ) | ☐ その他() | |

ハ.伝送信号出力(各種測定データを記録計やデータロガーなどに取りこむための出力です。)

- ☐伝送信号不要
- ☐反応器温度
- ☐ヒータ温度
- ☐反応器圧力
- ☐モータ回転数
- ☐攪拌トルク
- ☐冷却水流量
- ☐送液ポンプ流量

ト.記録計の有無について

- ☐なし
- ☐制御盤端子台に集約(記録機器ユーザー用意)
- ☐データロガー
- ☐チャートレス記録計
- ☐ペーパー記録計(点式)
- ☐ペーパー記録計(ペン式)
- ☐ハイブリット記録計(データ記録+ペーパー打点)
- ☐PCレコーダ
- ☐PC内蔵記録ソフト

- ☐規定なし(マンセル5Y7/1ライトベージュまたはマンセル2.5Y9/1クリーム色)
- ☐オートクレーブ塗色と統一(マンセル10GY9/1)
- ☐塗色指定()



リ.電源ケーブル長さ

- ☐標準5メートル
- ☐指定長さ(メートル)

オートクレーブ設置台 お見積り標準スペックシート

A.カップリング駆動部のカバー(ベルト不使用のため巻込リスクは僅少ですが被覆可能です。)

- ☐カバー不要
- ☐カップリングカバー
- ☐設置台ごとカバー(安全扉付設置台)
- ☐設置台ごとカバー(電磁ロック付安全扉付設置台)

B.加熱部のカバー

- ☐カバー不要
- ☐ヒーター火傷防止ガラス布カバー
- ☐設置台ごとカバー(安全扉付設置台)
- ☐設置台ごとカバー(電磁ロック付安全扉付設置台)

C.容器フランジ部のカバー

- ☐カバー不要
- ☐放熱防止ガラス布カバー
- ☐設置台ごとカバー(安全扉付設置台)
- ☐設置台ごとカバー(電磁ロック付安全扉付設置台)

D.設置台の材質

	■日本塗料工業会番号 KN-95 ■マンセル値(参考) N9.5		■日本塗料工業会番号 K22-90D ■マンセル値(参考) 2.5Y9/2		■日本塗料工業会番号 K42-70D ■マンセル値(参考) 2.5G7/2		■日本塗料工業会番号 S23-255 ■マンセル値(参考) 5YR2/1.5
	■日本塗料工業会番号 KN-80 ■マンセル値(参考) N8		■日本塗料工業会番号 K22-80D ■マンセル値(参考) 2.5Y8/2		■日本塗料工業会番号 K57-60C ■マンセル値(参考) 7.5BG6/1.5		■日本塗料工業会番号 S26-403 ■マンセル値(参考) 7.5GY8/3
	■日本塗料工業会番号 KN-75 ■マンセル値(参考) N7.5		■日本塗料工業会番号 K25-80B ■マンセル値(参考) 5Y8/1		■日本塗料工業会番号 K72-50L ■マンセル値(参考) 2.5PB5/6		■日本塗料工業会番号 S31-513 ■マンセル値(参考) 2.5G6/3
	■日本塗料工業会番号 KN-70 ■マンセル値(参考) N7		■日本塗料工業会番号 K25-80C ■マンセル値(参考) 5Y8/1.5		■日本塗料工業会番号 S7-301 ■マンセル値(参考) 2.5Y9/3		
	■日本塗料工業会番号 KN-10 ■マンセル値(参考) N1		■日本塗料工業会番号 K27-90B ■マンセル値(参考) 7.5Y9/1		■日本塗料工業会番号 S9-441 ■マンセル値(参考) 10GY9/1		
	■日本塗料工業会番号 K12-60X ■マンセル値(参考) 2.5YR6/14		■日本塗料工業会番号 K39-80H ■マンセル値(参考) 10GY8/4		■日本塗料工業会番号 S15-511 ■マンセル値(参考) 7.5G7/2.5		

■ 標準塗色は、24色→21色に変更されてい
ましたのでご了承ください。

- ☐標準材質・標準塗装色(SS400焼付塗装マンセル10GY9/1半ツヤ)
- ☐標準材質・塗装指定色(SS400焼付塗装マンセル)
- ☐ステンレスSUS304設置台
- ☐アルミフレーム軽量架台
- ※参考塗装色(制御盤対応色参照)

装置の設置場所寸法と設置階数の確認

イ.搬入経路や研究室扉、エレベーター等の搬入許容サイズについて
(搬入に当たって、幅や奥行及び高さの制限が考えられる場合、必ずご記入をお願いします。)

☐特に問題とならない。

☐装置最大サイズを指定 (W mm×D mm×高さ mm)以内

☐設置可能スペースについて
(設置スペースが限られ、サイズを厳守する必要がある場合、必ずご記入をお願いします。)

☐特に問題とならない。

☐装置最大サイズを指定 (W mm×D mm×高さ mm)以内

ハ.設置階数とエレベーター等の使用可否について

☐地上1階

☐地上2階以上(階) ※エレベーターの使用： ☐使用可 ☐使用不可 ☐他()

☐地下(地下 階) ※エレベーターの使用： ☐使用可 ☐使用不可 ☐他()

二.設置レイアウトの概要について

オートクレープ本体



制御盤・コントローラ



オートクレープ・制御盤距離
()メートル

電源までの距離
()メートル

ホ.設置レイアウトに関する注意事項(特記事項あればご記入下さい。)

へ、出荷時の荷姿

卓上架台を超えるサイズの装置類は、JITBOXまたは4tパワーゲート車での出荷になります。

※JITBOXに収まるサイズの場合、装置類(中)の運賃となります。

※JITBOXに収まらない場合、4tパワーゲート車手配による装置類(大)の運賃になります。

→JITBOX複数台の方が安い場合は、JITBOX複数台手配になります。

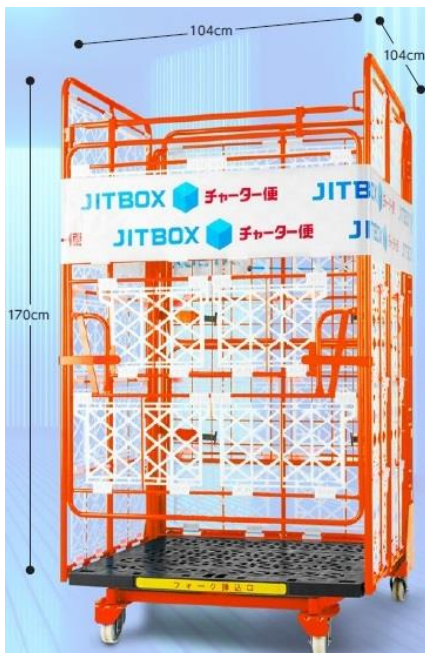
■製品出荷時の荷受確認について

☐JITBOX及び4tパワーゲート車の荷受は可能

☐JITBOX及び4tパワーゲート車の荷受は不可

☐JITBOX及び4tパワーゲート車の荷受については、弊所等の荷受立会が必要

〈JITBOX〉



〈パワーゲート車〉



■人力や台車による運搬作業規定の有無について

※設置場所事業所・建屋内に運搬についての詳細なルールがある場合は、ご記入ください。

※二人作業が必須・運搬荷物の上限重量・台車使用の諸注意・階段使用の有無・段差など

★耐圧検査及び昇温試験方法について(通常は純水での耐圧・昇温テストです。)

☐水圧検査(純水での耐圧試験及び昇温テスト※標準試験方法)

☐無水エタノール

☐気密試験(使用流体が水との接触を嫌う場合) 試験ガス：☐窒素ガス ☐アルゴンガス

☐その他()

オートクレーブその他ご要望スペック